

# 第1学年 生活科学習指導案

指導者 福岡市立 小学校  
教諭

## 単元名「あきのものがたりをたのしもう」

### 4. こんな子どもに

- 秋の自然に関心を持ち、進んで秋を探したり、見つけたもので遊んだりすることができる。  
(関心・意欲・態度)
- 秋の自然の中で見つけたことや感じたことを秋の物語に表現したり、友達に伝えたりすることができる。  
(思考・表現)
- 季節の変化に伴って自然物の様子が変わることから、自然のすばらしさに気付くとともに、自分のできるようになったことや友達の良さに気付くことができる。  
(気付き)

### 2. こんな教材で

本単元は内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」を軸として、秋の自然とのかかわりを深めることで、季節の変化に関心を持ち、自然のすばらしさに気付いていくことをねらいとしている。

本単元は、次のような価値が考えられる。①秋の自然は、春や夏との違いを見つけやすく、季節の変化に関心しやすい。②校内にあるいこいの森・校庭の樹木は、木の葉の色が変わるものが多く、一年を通して、繰り返しかかわる中で、四季の変化を実感できる。③いこいの森という身近な自然に浸り、四季の変化を楽しむことは、諸感覚を磨くとともに、自然のすばらしさを味わうことができる。

このように、諸感覚を使って、繰り返しいこいの森の自然と触れあったり、自分なりの思いや願いをもって、進んで自然とかかわったりしていくことは、科学的な見方・考え方の基礎となる自然の美しさや巧みさ、不思議さや面白さなどへの感動をもった出会いができるという点で意義深い。

ひろげる

ふかめる

つかむ

### 3. こんな支援で

- いこいの森に、秋の物語や秋の自然物を使ってつくったものを展示した秋のミュージアムを開き、秋の物語を発表することで、季節の変化を自分の生活に取り入れる楽しさを味わうようにする。
- 振り返りカード等で、秋の自然とのかかわりを通して気付いたことやできるようになったことを振り返り、自分のよさや成長に気付くようにする。

- いこいの森に繰り返しかかわり、諸感覚を使って、秋の物語を見つけていくことで、自然のすばらしさを味わうことができるようにする。
- 秋の自然を春や夏と比べたり、たとえばたりしながら、秋の物語を書き、自分なりに紙芝居や絵本、写真集などにまとめていく中で、実感を伴った表現ができるようにする。その際は、国語「よく見て書こう」との関連を図るようにする。

- 「葉っぱのフレディ」をもとにした話を読み聞かせ、今までいこいの森で見つけた自然の姿は、季節の移り変わりの一部分だと言うことに気付くことができるようにする。
- いこいの森でフレディさがしをすることで、春や夏とは違う紅葉した木の葉や種などに目を向け、いこいの森に秋が訪れていることに気付くことができるようにする。

### 1. こんな子どもだから

- 学校探検をする中で、校内にあるいこいの森やビオトープに関心を持ち、朝の会で自分の見つけた草花や生きものを紹介したり、放課後に公園で虫とりをしたりするなど、自然との関わりを深めてきている。  
【関心・意欲・態度】
- 学校探検や遊び場探検などの活動を通して、自分の身近な「もの・人・こと」にかかわる中で自分が体験したことや気付いたことを絵や文で表現できるようになってきた。  
【思考・表現】
- いこいの森やビオトープで、草花や生きものみつけをする中で、校内には、いろいろな草花や樹木があることに気付いている。  
【気付き】

5. 学習活動計画（全13時間）

学習活動と内容	評価規準	重点指導事項
<p>1. 葉っぱのフレディをもとにした紙芝居を見た後、いこいの森へ行く。②</p> <p>(1) 葉っぱのフレディをもとにした紙芝居を見た後、春や夏の活動を振り返る。</p> <p>(2) いこいの森に行き、フレディ見つけをする。</p>	<p>○ いこいの森で、進んでフレディを見つけている。</p>	<p>○ いこいの森で見つけたことを交流する中で、いこいの森に秋が来たことに気付くことができるようにする。</p>
<p>2. いこいの森で、秋の物語を見つける。① (本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カキやサクラ，モミジの葉</li> <li>・ ガマやモミジの種</li> <li>・ くぬぎの実</li> </ul>	<p>○ 春や夏とは違う自然物の様子に気付いている。</p>	<p>○ 春や夏の自然物の様子を掲示しておき、いこいの森の秋の自然物の様子と比較することで、秋になったときの変化に目をむけることができるようにする。</p>
<p>3. いこいの森や公園でいろいろな秋の自然を見つけたり自然物で遊んだりする。⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色が変わった葉っぱ (サクラ，モミジ，ケヤキ，イチョウ，クヌギ，カキ，クリなど)</li> <li>・ 実がなる木 (クヌギ，リンゴ，カキ，クリなど)</li> <li>・ 種 (ガマ，モミジ，オジギソウ，コスモスなど)</li> </ul>	<p>○ 秋の自然物の様子を春や夏と比べたり，たとえば秋の物語に表すことができる。</p>	<p>○ いこいの森に繰り返しかかわり，秋の物語を書くことで自然の変化に目を向けることができるようにする。</p> <p>○ いこいの森と公園を比べることで，公園の自然にも秋の物語があることに気付くようにする。</p>
<p>4. 今まで見つけてきた秋の物語をもとに，自分なりの秋の物語をまとめ，秋のミュージアムの準備をする。③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋の物語・・・紙芝居，絵本，写真集</li> <li>・ 展示するもの・・・木の紹介やクイズ，飾りなど</li> </ul>	<p>○ 自分なりの表現方法で秋の物語をまとめている。</p>	<p>○ 今まで書いてきた秋の物語をもとに，紙芝居や，絵本，写真集など自分の好きな方法で，秋の物語をまとめるようにする。</p>
<p>5. いこいの森で，秋のミュージアムを開き，秋の物語を発表する。②</p> <p>(1) 自分のつくった秋の物語や，秋の木の葉や木の実でつくったものを展示し，保護者を招待して，秋の物語を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋の物語，樹木の説明，展示物など</li> </ul> <p>(2) いこいの森で，秋の物語を見つけて楽しんだことを振り返る。</p>	<p>○ 自分のつくった秋の物語をもとに，季節が変わると自然物の様子が変わることや，自然のすばらしさを友達や見に来てくれた人に伝えることができる。</p>	<p>○ 秋のミュージアムでは，秋の物語の発表や，樹木の説明やクイズ，展示物などを通して，秋の自然への気付きを共有することができるようにする。</p>

## 7. 本時指導案

(1) 単元名「あきのものがたりをたのしもう」 本時(3/13)

### (2) 本時の目標

- 自分の見つけたことを秋の物語に表現したり、友達に伝えたりすることができる。
- 春や夏と違う秋の自然に気付くことができる。

### (3) 本時指導の考え方

#### 目指す子ども像

「なつがすぎて、あきがきました。なつには、みどりいろだったかきのはっぱが、オレンジとみどりのときいろがまざったいろにかわって、とてもきれいです。はっぱには、めだまみたいなもようもついていておもしろいです。かきのみも大きくなってオレンジいろにかわりました。あきになると、いこいのもりの木のはっぱがいろいろないろにかわっています。」 (秋の物語)

あきになると、葉っぱの色がかわるんだなあと思いました。あきになると、はっぱの色がいろいろな色にかわるので、ふしぎです。 (振り返りカード)

#### 本時仮説

いこいの森に繰り返しかかわり、見つけたことを秋の物語として表現し、友達と伝え合えば、春や夏と違う秋の自然に気付くことができるであろう。

### 手立て1 いこいの森に繰り返しかかわり、見つけたことを秋の物語として表現すること

春や夏のいこいの森での活動の様子をパネルで掲示することによって、春や夏の木々の様子や自分たちが見つけたことを想起しやすいようにする。

また、前時に子どもたちは、フレディ見つけをする中で、「モミジの○○」「カキの○○」と名前をつけている。そのモミジやカキが秋になるとどのように変化しているかという視点をもって、秋の物語を見つける活動に入るようにする。

秋の物語を書く際は、動き回るのをやめ、お気に入りの場所に座り、いこいの森の自然との一体感を感じるようにする。そこで、見つけたことや感じたことを春や夏の自然と比べたり、たとえたりして秋の物語に表現することで、実感を伴った表現が生まれると考える。その際、本時は、秋の物語の第1ページ目とし、「なつがすぎてあきがきました。」という言葉から書くようにする。そうすることで、春や夏と比べ、秋になったときの木の葉や木の実の変化を表現できると考える。また、その中には、色、におい、手触りなどへの気付きが表現されていくと考える。

ここでは、国語「よく見て書こう」との関連を図るようにする。「カキのフレディは、なつには、みどりだったのはっぱの色が、オレンジと赤とみどりがまざったいろにかわっていて、とてもきれいです。」「モミジのフレディは、たねができています。」と、自然物が主体の書き方をすることで、より、春や夏との違いに気付くことができるようにする。

### 手立て2 秋の物語を交流し、もう一度見に行く場の設定をすること

秋の物語を書いた後は、一度集まり秋の物語を紹介する。秋の物語を交流することで、共通点や相違点に気付いたり、気付きを関連付けたりして、秋の自然への気付きの質を高めていくようする。

また、紹介された秋の物語のところをもう一度見に行く活動をすることで、「本当だ」という実感を伴った気付きができ、そのことが科学的な見方・考え方の基礎となる自然の美しさや巧みさ、不思議さなどの自然のすばらしさに気付くことにつながると考える。

(4) 板書計画

あきのものがたりをたのしもう

① めあて いこいのもりで、あきのものがたりをみつけよう

② はっぱ  
み  
たね  
はな

③ はるやなつ → あきになると

④

おれんじい  
ろになる

かき

みができる

たねができる

おちる

りんご

さくら

あかくなる

がま

もみじ

くり

たねができる

こすもす  
ねずみもち

※ 写真に出ていないものが出た場合は書き出す。

(5) 展開

学習活動と内容	評価規準	重点指導事項
<p>1. 本時のめあてを確認する。・・・①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて いこいのもりで、「あきのものがたり」を みつけよう</p> </div> <p>2. いこいの森で、秋の物語を見つける。・・・②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色が変わった葉っぱ (モミジ・ケヤキ・イチョウ・サクラ・クヌギ・クス・コブシ・カキなど)</li> <li>・ 実がなる木 (ドングリ・リンゴ・クリ・カキなど)</li> <li>・ 種 (ガマ・モミジ・コスモスなど)</li> <li>・ 落ちているもの</li> <li>・ においがするもの</li> </ul> <p>3. 自分の見つけた秋の物語の1ページ目を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「なつが過ぎて、秋がきました・・・」から書き始める。</li> </ul> <p>4. 秋の物語を発表する。・・・③④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カキの葉や実</li> <li>・ ガマやモミジの種</li> </ul> <p>5. 友達の紹介した秋の物語を見つけに行く。</p> <p>6. 今日の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の活動で思ったことを発表する。</li> <li>○ 振り返りカードを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の見つけたことを秋の物語として表現したり、友達に伝えたりすることができる。</li> <li>○ 春や夏とは違う秋の自然に気付くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋の物語を見つける中で、比べたりたとえたりしながら、紅葉した木の実に関心をもってかかわることができるようにする。</li> <li>○ 秋の物語を交流することで、共通点や相違点を見つけ、いこいの森にはいろいろな秋の物語があることに気付くことができるようにする。</li> <li>○ 秋の自然への気付きを実感できるようにする。</li> </ul>